

問1 フランス革命以前のフランスにおける、アンシャン・レジーム（旧制度）と呼ばれる社会構造について述べた次の説明のうち、最も適切なものを選んでください。この社会では、人口のわずか数パーセントにすぎない特定の身分が、広い領地を持ち免税などの特権を享受していました。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. 第一身分である聖職者が、特権階級として免税などの恩恵を受けていた
2. 第二身分である平民が、政治の実権を握り経済を支配していた
3. 第三身分である貴族が、国王の諮問機関である三部会を主導していた
4. 全ての身分が平等に納税の義務を負い、参政権が与えられていた

問2 「主権の源は、もともと国民にある」という主権在民の原則や、人間の自由と平等を高らかにうたった人権宣言が、当時のフランス社会において果たした歴史的な役割や背景として最も適切な説明を選びなさい。（2019年 香川公立入試 類似）

1. 絶対王政による専制政治を批判し、市民が政治の主役となる近代社会の指針を示した。
2. イギリスの植民地支配から独立するために、新たな連邦国家の建設を正当化した。
3. 産業革命による格差の拡大を防ぐため、労働者の団結権や社会権を初めて保障した。
4. 国王の権限を法的に制限することで、貴族が中心となって政治を行う立憲君主制を確立した。

問3 メソポタミア文明において生み出され、現代の私たちの生活における「時間」や「暦」の考え方の基礎となっている数学的・天文学的知識の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2017年 三重公立入試 類似）

1. 1週間を7日とする制度と、60進法の活用
2. 1年を365日とする太陽暦と、10進法の活用
3. ゼロの概念の発見と、十進位取り記数法
4. 二十四節気の導入と、太陰太陽暦の作成

問4 日本の歴史における文化財や出来事について、年代の古いものから順に正しく並んでいるものはどれですか。鑑真が関わった唐招提寺の建立、重源らが中心となった東大寺の再建、足利義政による銀閣（慈照寺）の建立、石見銀山などの銀鉱山の開発、徳川家康を祀る日光東照宮の造営という5つのトピックの前後関係を基準に考えなさい。（2015年 山口公立入試 類似）

1. 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀閣の建立 → 銀鉱山の開発 → 日光東照宮の造営
2. 東大寺の再建 → 唐招提寺の建立 → 銀鉱山の開発 → 銀閣の建立 → 日光東照宮の造営
3. 唐招提寺の建立 → 銀閣の建立 → 東大寺の再建 → 日光東照宮の造営 → 銀鉱山の開発
4. 銀閣の建立 → 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀鉱山の開発 → 日光東照宮の造営

問5 中国文明の初期の王朝である殷（いん）では、政治や軍事に関する重要な事柄を決定する際、ある特別な方法が用いられていました。その方法と、それに関連して生まれた文化的な特徴について説明したものと正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 石碑に刻まれたハンムラビ法典に基づき、厳格な裁判によって国家の秩序を維持した。
2. 亀の甲羅や牛の骨を焼いて現れたひびの形で神の意志を占う「骨占い」を行い、その結果を甲骨文字で記録した。
3. パピルスと呼ばれる草の茎から作られた紙に、象形文字を用いて王の業績を詳しく記録した。
4. インダス文字を用いた印章を使い、農産物や家畜の取引内容を正確に管理することで経済を安定させた。

問6 古代エジプト文明の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。
2. チグリス・ユーフラテス川の流域で栄え、粘土板に楔形文字が刻まれた。
3. 時間をはかる単位として60進法が発明され、1週間を7日とする制度が生まれた。
4. 各地に都市国家（ポリス）が成立し、市民による進んだ民主政治が行われた。

問7 奈良の平城京にある東大寺の正倉院には、聖武天皇の遺愛品などが数多く納められています。その中にある「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」などの工芸品は、中央アジアや西アジアの影響を受けた国際色豊かなデザインが特徴です。これらの文物が唐の都である長安を経て日本へ伝わる際に通った、中国と西方を結ぶ陸上の交易路を何と呼びますか。（2014年 沖縄公立入試 類似）

1. シルクロード（絹の道）
2. 海の道（香辛料の道）
3. ステップの道（草原の道）
4. 茶馬古道

問8 中国の河南省安陽市にある「殷墟（いんきょ）」と呼ばれる遺跡から大量に出土し、当時の王朝の存在を証明する決定打となった史料を、その特徴に基づいて説明しているものはどれですか。（2025年 大阪公立入試 類似）

1. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料
2. ピラミッドの内部に描かれており、王の復活を願う呪文が記された資料
3. パピルスと呼ばれる植物の茎から作られた紙に、当時の法律を記した資料
4. 竹を細長く割ったものに、官僚の採用試験の内容を記録した資料

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 第一身分である聖職者が、特権階級として免税などの恩恵を受けていた	フランス革命前の社会体制であるアンシャン・レジームでは、国民が三つの身分に分けられていました。第一身分の聖職者と第二身分の貴族は、広大な土地を所有しながら納税の義務を免除されるなどの特権を持っていました。これに対し、人口の約98%を占める第三身分の平民は、政治的権利がない一方で重い税を負担しており、この格差が革命の要因となりました。
問2	<b>答え 1</b> 絶対王政による専制政治を批判し、市民が政治の主役となる近代社会の指針を示した。	当時のフランスは「アンシャン・レジーム」と呼ばれる古い身分制度により、第三身分である平民が重い税に苦しんでいました。人権宣言は、こうした国王による絶対的な支配や特権階級存在を否定し、すべての人が生まれながらに権利を持つという新しい時代の理念を明確にしたものです。これにより、政治の正当性が国王の神授の権力ではなく、国民の意志に基づくとされる「主権在民」の考え方が広まりました。
問3	<b>答え 1</b> 1週間を7日とする制度と、60進法の活用	メソポタミア文明では、天体の動きを観察する天文学が発達し、そこから1週間を7日（七曜制）とする制度が考案されました。また、数学においては、60をひとつの区切りとする「60進法」が使われていました。この考え方は、現代においても1分を60秒、1時間を60分とする時間の単位や、円の角度を360度とする基準として受け継がれています。
問4	<b>答え 1</b> 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀閣の建立 → 銀鋳山の開発 → 日光東照宮の造営	奈良時代には唐の僧・鑑真によって唐招提寺が建立されました。鎌倉時代になると、源平の争乱で焼失した東大寺が重源らによって再建され、大仏様という建築様式が取り入れられました。室町時代（15世紀）には足利義政により東山文化の象徴として銀閣が建てられます。その後、16世紀（戦国時代から安土桃山時代）にかけて石見銀山などの銀鋳山開発が本格化し、江戸時代に入ってから徳川家康を祀る日光東照宮が現在の華麗な姿に造営されました。
問5	<b>答え 2</b> 亀の甲羅や牛の骨を焼いて現れたひびの形で神の意志を占う「骨占い」を行い、その結果を甲骨文字で記録した。	古代の中国文明では、王が政治や祭祀を司る際、神の意志を確認するための占いが非常に重視されていました。この占いの結果を記録するために使われたのが甲骨文字です。このように、宗教的な儀式と政治が一体となった統治が行われていたことが、中国文明の大きな特徴の一つです。
問6	<b>答え 1</b> ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。	エジプトは「ナイルのたまもの」と呼ばれるように、ナイル川の定期的な氾濫が肥沃な土壌をもたらし、農業を発展させました。この氾濫の時期を正確に知る必要から天文学が進歩し、太陽暦が生まれました。他の選択肢にある楔形文字、60進法、1週間を7日とする制度はメソポタミア文明の特徴であり、都市国家（ポリス）や民主政治は古代ギリシャの特徴です。
問7	<b>答え 1</b> シルクロード（絹の道）	古代、中国（漢や唐の時代）と中央アジア、西アジアを結んだ陸上の交易路は「シルクロード（絹の道）」と呼ばれます。奈良時代の日本は遣唐使を通じて唐の文化を積極的に取り入れました。当時の唐は国際色が非常に強く、シルクロードを通じてもたらされた西方の楽器や装飾技術が日本にも伝来しました。その宝物が今も正倉院に保管されており、日本はシルクロードの東の終着点とも称されます。
問8	<b>答え 1</b> 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料	殷墟は殷王朝後期の都の跡であり、ここから発見された甲骨によって、伝説上の存在に近かった殷が実在したことが裏付けられました。甲骨には、農作物の豊凶、戦争の成否、天候、王の健康状態などの占いの結果が刻まれており、当時の社会状況を詳しく知ることができる一級の史料となっています。

問1 中国の春秋戦国時代という社会の混乱期において、親族間の情愛を基本とする「仁」の心を重視し、道徳によって国を治めるべきだと説いた思想家は誰か。（2022年 鳥取公立入試 類似）

1. 孔子                                      2. 老子                                      3. 孟子                                      4. 朱子

問2 現在のイラク付近にあたる、チグリス川・ユーフラテス川流域で成立したメソポタミア文明に関する記述として、正しいものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 月の満ち欠けの周期を一か月とする暦が作られ、時間は60進法で教えられた。      2. 定期的に増水するナイル川の氾濫を予測するために、太陽暦が発明された。      3. インダス川流域において、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市が築かれた。      4. 黄河の流域において、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われた。

問3 古代エジプト文明の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。      2. チグリス・ユーフラテス川の流域で栄え、粘土板に楔形文字が刻まれた。      3. 時間をはかる単位として60進法が発明され、1週間を7日とする制度が生まれた。      4. 各地に都市国家（ポリス）が成立し、市民による進んだ民主政治が行われた。

問4 中世ヨーロッパにおいて、十字軍の遠征が行われたことがその後の社会に与えた背景や影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった      2. 遠征に成功したことでローマ教皇の権威が絶対的なものとなり、宗教改革を未然に防いだ      3. 遠征軍がアジアから持ち帰った茶の栽培が広まり、ヨーロッパの農業構造が変化した      4. イスラム勢力が完全に消滅したため、キリスト教諸国によるアメリカ大陸の植民地化が始まった

問5 アジアに位置する二つの文明について、南アジアのインダス川流域で栄えた文明と、東アジアの黄河・長江流域で栄えた文明における、それぞれの特徴的な遺物や記述の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2019年 沖縄公立入試 類似）

1. インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。      2. インダス川流域ではくさび形文字を記した粘土板が、黄河・長江流域ではハムラビ法典を記した石柱が見られる。      3. インダス川流域ではパピルスに記された死者の書が、黄河・長江流域では青銅器を用いた仏像が見られる。      4. インダス川流域では太陽暦に基づいた農事暦が、黄河・長江流域ではインダス文字を用いた印章が見られる。

問6 紀元前16世紀ごろの中国で成立した殷（いん）の遺跡からは、亀の甲羅や動物の骨に文字が刻まれた資料が数多く出土しています。この資料に刻まれた、現在の漢字の起源とされる文字を何といいますか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 楔形文字                                      2. 甲骨文字                                      3. ヒエログリフ                                      4. 象形文字

問7 古代中国の黄河文明で用いられた「甲骨文字」について、その特徴や歴史的背景を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 亀の甲羅などに占いの結果を記したもので、現在の漢字の起源となった。      2. シュメール人が粘土板に刻んだ文字で、のちに周辺諸国へと広まった。      3. エジプトでパピルスという紙に書かれた文字で、王の業績を記録した。      4. フェニキア人が考案した表音文字で、のちのアルファベットの基礎となった。

問8 マチュピチュを築いたインカ帝国の特徴について述べた文として、正しいものを選択してください。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 文字は持たなかったが、結んだ紐の形や色で情報を伝える「キーブ（結縄）」という手段を用いていた。      2. インダス川流域で栄え、高度な下水道完備やレンガ造りの都市計画を特徴としていた。      3. ナイル川の氾濫を利用した農業を行い、国王のために巨大なピラミッドを建造した。      4. カースト制度と呼ばれる厳しい身分制度を維持し、仏教やヒンドゥー教が興る基盤となった。

問9 チグリス川とユーフラテス川の流域で成立した古代文明において、粘土板に刻んで使用されていた文字を何といいますか。

（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 楔形文字                                      2. 甲骨文字                                      3. 象形文字（ヒエログリフ）                                      4. インダス文字

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 孔子	春秋戦国時代の諸子百家の一人であり、武力による統治ではなく、礼節と「仁」の心に基づいた道徳政治を提唱しました。彼の教えは後に「儒教」としてまとめられ、日本を含む東アジア諸国の政治理念や道徳観に深く浸透することとなりました。
問2	<b>答え 1</b> 月の満ち欠けの周期を一か月とする暦が作られ、時間は60進法で教えられた。	メソポタミア文明では、天文学が発達し、月の満ち欠けに基づいた「太陰暦」が用いられました。また、角度や時間を測る際に「60進法」が取り入れられており、これは現代の1分が60秒、1時間が60分という仕組みの源流となっています。他の選択肢は、ナイル川流域のエジプト文明、インダス川流域のインダス文明、黄河流域の中国文明に関する説明であり、地理的背景や文化遺産を区別して理解しておく必要があります。
問3	<b>答え 1</b> ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。	エジプトは「ナイルのたまもの」と呼ばれるように、ナイル川の定期的な氾濫が肥沃な土壌をもたらし、農業を発展させました。この氾濫の時期を正確に知る必要から天文学が進歩し、太陽暦が生まれました。他の選択肢にある楔形文字、60進法、1週間を7日とする制度はメソポタミア文明の特徴であり、都市国家（ポリス）や民主政治は古代ギリシャの特徴です。
問4	<b>答え 1</b> 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった	十字軍の遠征は軍事的には失敗に終わりましたが、東方との交流が活発化したことで、当時のヨーロッパよりも進んでいたイスラム世界の医学、天文学、古代ギリシャの文献などが流入しました。これが後の人間中心の文化運動であるルネサンスにつながる重要な背景となりました。
問5	<b>答え 1</b> インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。	インダス文明は、計画的に整備された都市遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパ、未解読のインダス文字が刻まれた印章などが特徴です。一方、中国文明（黄河文明など）では、漢字の原型となった甲骨文字や、高度な技術で作られた青銅器が特徴的です。
問6	<b>答え 2</b> 甲骨文字	中国最古の王朝とされる殷では、政治の重要な事柄を決定する際に神の意志を問う占いが行われていました。その占いの結果を亀の甲羅（甲）や動物の骨（骨）に刻んで記録したものが、現在の漢字のもとになった甲骨文字です。この文字が発見された都の跡は「殷墟（いんきょ）」と呼ばれ、当時の高度な文明を伝えています。
問7	<b>答え 1</b> 亀の甲羅などに占いの結果を記したもので、現在の漢字の起源となった。	甲骨文字は、紀元前1600年ごろの殷（商）の遺跡から発見された文字です。主に占いという宗教的な儀式の記録のために用いられましたが、その形や構造がのちの時代の漢字へと直接つながっている点が大きな歴史的意義を持っています。他の選択肢にある楔形文字（メソポタミア）やヒエログリフ（エジプト）とは成立過程や地域が異なります。
問8	<b>答え 1</b> 文字は持たなかったが、結んだ紐の形や色で情報を伝える「キープ（結縄）」という手段を用いていた。	インカ帝国は、15世紀から16世紀にかけて南アメリカ大陸の広大な範囲を統治した帝国です。独自の文字を持たなかったため、数字や情報を記録・伝達するために「キープ」と呼ばれる紐の結び目を利用していました。また、マチュピチュのような険しい山岳地帯に都市を築くための石造建築技術や、効率的な道路網（インカ道）を整備していたことも大きな特徴です。
問9	<b>答え 1</b> 楔形文字	この地域では、湿った粘土の板に葦などの茎を押し当てて文字を刻んでいました。その形状が「くさび」に似ていたことから楔形文字と呼ばれます。亀の甲羅や牛の骨に刻まれたのは中国文明の甲骨文字、ナイル川流域で使われたのはエジプト文明の象形文字です。

問1 インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロの構造から読み取れる、この文明の社会的な特徴として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 愛知公立入試 類似)

1. 基盤の目状の道路やレンガ造りの排水溝、公衆浴場などが整備された、計画的な都市運営が行われていた
2. 王の権力を象徴する巨大な墓としてピラミッドが建設され、死後の世界を重視する宗教観を持っていた
3. 都市の中心にジグuratと呼ばれる聖塔を築き、神官が政治を行う神権政治を徹底していた
4. 周囲を高い城壁で囲んだ都市国家を形成し、外敵の侵入を防ぐことを最優先した軍事的な社会であった

問2 18世紀後半のフランスにおいて、第一身分の聖職者や第二身分の貴族といった特権階級に対し、第三身分の人々が強く反発し、フランス革命へとつながった背景として正しいものはどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)

1. 特権階級が免税特権を維持したまま、国家の財政難を解決するために平民への増税を求めたこと
2. 聖職者が平民に対してのみ、教会の役職に就くことを義務付け、労働を強いたこと
3. 国王が特権階級の領地をすべて没収し、平民に平等に分配しようとしたこと
4. 貴族が産業革命を推進し、平民の伝統的な職を機械によって奪ったこと

問3 紀元前5世紀頃の古代ギリシャの都市国家アテネにおける社会や政治の様子について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)

1. 成年の男性市民による直接民主政が行われていたが、労働などは多くの奴隷が担っていた。
2. 国王が神の化身として崇拜され、巨大な建造物や太陽暦が作られた。
3. 教皇や君主の権威が強く、キリスト教カトリック教会が社会の中心であった。
4. 18歳以上のすべての男女が選挙権を持ち、議会に代表者を送って政治を行っていた。

問4 秦の始皇帝が、中国の北部に「万里の長城」を築き、大規模な防壁を整備した歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都公立入試 類似)

1. 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため
2. 東南アジア諸国との交易を独占し、経済を活性化させるため
3. 仏教を国教として保護し、巡礼者のための道を整備するため
4. 国内の農民が勝手に国外へ逃亡するのを物理的に遮断するため

問5 7世紀に成立したイスラム教の教えや特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 千葉公立入試 類似)

1. 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。
2. パレスチナでイエスが説き始め、すべての人間を愛する「隣人愛」と神による救済を強調している。
3. シャカ(釈迦)がインドで修行の末に悟りを開き、生老病死などの苦しみから逃れる道を説いている。
4. 孔子が戦乱の世を収めるために、家族の道徳である「仁」や社会の決まりである「礼」を説いている。

問6 黄河や長江の流域で発展した古代の中国文明に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形公立入試 類似)

1. 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。
2. 粘土板に楔形文字を刻み、天文学や六十進法などの高度な技術が発達した。
3. パピルスという紙に神聖文字(ヒエログリフ)が書かれ、太陽暦が用いられた。
4. 印章などに刻まれたインダス文字が使用され、レンガ造りの計画的な都市が築かれた。

問7 古代文明の発生地について述べた文として、アフリカ北東部のナイル川流域で栄え、象形文字を使用し、ピラミッドなどの巨大建築物を残した文明の名称を答えなさい。 (2019年 沖縄公立入試 類似)

1. エジプト文明
2. メソポタミア文明
3. インダス文明
4. 中国文明

問8 7世紀頃の世界情勢において、大国であるビザンツ帝国とササン朝が長年対立した結果、従来の交易路が避けられるようになりました。これに代わる新しい中継貿易のルートとして繁栄し、ムハンマドが活動を始めたアラビア半島の都市はどこですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. エルサレム
2. ローマ
3. メッカ
4. バグダード

問9 紀元前5世紀頃の古代ギリシャの都市国家アテネにおいて確立された、市民が国政の重要事項を直接話し合って決定する政治体制を何と呼びますか。また、その意思決定を行う場の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2024年 山梨公立入試 類似)

1. 直接民主政を行い、民会で決定した
2. 間接民主政を行い、議会で決定した
3. 独裁政治を行い、広場で決定した
4. 貴族政を行い、元老院で決定した

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 基盤の目状の道路やレンガ造りの排水溝、公衆浴場などが整備された、計画的な都市運営が行われていた	インダス文明の都市遺跡には、当時の他の文明と比較しても際立って優れた都市計画の跡が見られます。住居跡からはレンガで作られた井戸や排水設備、さらには大規模な浴場などが発見されており、高度な土木技術と公衆衛生に対する意識の高さがうかがえます。このようなインフラの整備は、社会全体が統制された計画的な生活を送っていたことを示唆しています。
問2	<b>答え 1</b> 特権階級が免税特権を維持したまま、国家の財政難を解決するために平民への増税を求めたこと	当時のフランスは、相次ぐ戦争や宮廷の浪費により深刻な財政難に陥っていました。国王はこれを解決するために、第一身分（聖職者）や第二身分（貴族）にも課税しようと試みましたが抵抗に遭いました。結局、負担が第三身分（平民）に押し付けられる形となり、身分制議会である三部会での対立をきっかけに、平民たちの不満が爆発して革命へと発展しました。
問3	<b>答え 1</b> 成年の男性市民による直接民主政が行われていたが、労働などは多くの奴隷が担っていた。	アテネでは、ポリス（都市国家）の市民権を持つ成年の男性全員が直接話し合いに参加する政治が行われていた。市民は戦争や政治に参加する義務と権利を持っていたが、その生活や経済活動は多くの奴隷による労働力によって支えられていた。他の選択肢の太陽暦は古代エジプト、カトリック教会の影響は中世ヨーロッパ、男女平等の選挙権は現代の民主政治の特徴である。
問4	<b>答え 1</b> 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため	当時の中国にとって、北方から機動力を活かして攻め込んでくる遊牧民（匈奴）の存在は大きな脅威でした。始皇帝は中国全土を統一した後、国家の安全保障のために大規模な土木工事を行い、これら遊牧民の侵入を阻止するための防壁を築きました。これが万里の長城の起源であり、その後の王朝でも修復や改修が繰り返されました。
問5	<b>答え 1</b> 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。	イスラム教はムハンマドによって創始され、神の前での平等を説きました。また、信仰の告白、礼拝、喜捨、断食、巡礼という「五行」に代表されるように、生活と宗教が密接に結びついているのが特徴です。他の選択肢は、順にキリスト教、仏教、儒教の説明です。
問6	<b>答え 1</b> 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。	中国文明では、紀元前16世紀頃の殷（商）の時代に、占いの結果などを記録するために「甲骨文字」が使用されました。これがのちに私たちが使用している漢字のルーツとなりました。他の選択肢はそれぞれ、メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明の特徴を説明したものです。
問7	<b>答え 1</b> エジプト文明	ナイル川の定期的な増水によってもたらされる肥沃な土地を基盤に発展した文明です。天文学が発達して太陽暦が作られたほか、バビルスに記される象形文字（ヒエログリフ）などの文化が生まれました。
問8	<b>答え 3</b> メッカ	当時のビザンツ帝国とササン朝の戦争を避けるため、商人はアラビア半島を経由するルートを多用するようになりました。その中継地点として繁栄したメッカは、イスラム教の創始者ムハンマドの出身地であり、現在もイスラム教の最も重要な聖地とされています。
問9	<b>答え 1</b> 直接民主政を行い、民会で決定した	古代アテネでは、市民が代表者を通さず自ら政治に参加する「直接民主政」が発達しました。この意思決定の中心となったのは、全市民が参加資格を持つ「民会」と呼ばれる機関です。現代の多くの国で採用されている代表制（間接民主政）とは異なり、自分たちで直接投票を行う仕組みでした。

問1 紀元前3世紀に中国を初めて統一した秦の始皇帝が行った政策について、その内容として正しいものはどれですか。 (2017年 大阪公立入試 類似)

- 万里の長城を修築し、北方の遊牧民の侵入を防ごうとした。
- シルクロードを通じた西方との貿易を独占し、仏教を国教とした。
- 科挙の制度を整え、家柄にとらわれず優秀な人材を官吏として採用した。
- 文字や貨幣の統一を禁じ、各地の伝統的な文化や経済の自立を促した。

問2 古代文明では、政治の記録や商業のやり取り、カレンダーの作成などのために独自の文字が発明されました。文明の名称と、その拠点となった河川、および使用された文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 高知公立入試 類似)

- エジプト文明 - ナイル川 - 象形文字 (ヒエログリフ)
- メソポタミア文明 - インダス川 - 楔形文字
- インダス文明 - 黄河 - インダス文字
- 中国文明 - チグリス・ユーフラテス川 - 甲骨文字

問3 アジアに位置する二つの文明について、南アジアのインダス川流域で栄えた文明と、東アジアの黄河・長江流域で栄えた文明における、それぞれの特徴的な遺物や記述の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2019年 沖縄公立入試 類似)

- インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。
- インダス川流域ではくさび形文字を記した粘土板が、黄河・長江流域ではハムラビ法典を記した石柱が見られる。
- インダス川流域ではパピルスに記された死者の書が、黄河・長江流域では青銅器を用いた仏像が見られる。
- インダス川流域では太陽暦に基づいた農事暦が、黄河・長江流域ではインダス文字を用いた印章が見られる。

問4 群馬県にある岩宿遺跡の発見は、日本史の研究において非常に重要な意味を持っています。この遺跡が発見されるきっかけとなった出来事と、それによって明らかになった当時の状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 京都公立入試 類似)

- 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。
- 大規模な水田遺構が発見され、縄文時代から本格的な稲作が始まっていたことが証明された。
- 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見され、当時の日本が中国の王朝と交流していたことが判明した。
- 人物や動物をかたどった埴輪が大量に出土し、強力な権力を持つ王が存在していたことが判明した。

問5 古代中国の各王朝で見られた文化や社会の様子について述べた文として、正しいものはどれか。 (2024年 和歌山公立入試 類似)

- 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。
- 秦の時代には、西方との交易路であるシルクロードを通じて仏教が伝わった。
- 漢の時代には、初めて青銅器が作られ、万里の長城の建設が開始された。
- 殷の時代には、始皇帝によって度量衡や貨幣の統一が進められた。

問6 大航海時代以降、南アメリカ大陸の太平洋側に位置する多くの国々では、現在もスペイン語が公用語として使用されています。このように、特定の地域の言語や文化がヨーロッパの国家の影響を強く受けることになった歴史的な経緯として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山形公立入試 類似)

- スペインがこの地域を植民地として支配し、自国の言語や宗教を広めたため
- イギリスがこの地域の国々と自由貿易協定を結び、英語教育を普及させたため
- ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を占領し、ラテン系の文化を強制したため
- 地元の先住民がヨーロッパとの交流を深める中で、自発的にスペイン語を国語として採用したため

問7 秦の始皇帝が、中国の北部に「万里の長城」を築き、大規模な防壁を整備した歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都公立入試 類似)

- 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため
- 東南アジア諸国との交易を独占し、経済を活性化させるため
- 仏教を国教として保護し、巡礼者のための道を整備するため
- 国内の農民が勝手に国外へ逃亡するのを物理的に遮断するため

問8 古代アテネで直接民主政が成立・維持された背景や特徴について、現代の民主主義と比較した説明として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 山梨公立入試 類似)

- 国家の規模が小さく、市民が特定の場所に集まって直接議論することが可能だった
- 通信技術が発達していたため、遠隔地からでも市民が投票に参加できた
- 選挙によって選ばれた専門の議員が、市民の代わりに法律を制定していた
- 全ての住民が平等な権利を持っていたため、争いなく物事が決定されていた

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。	始皇帝は、中国を統一した後に北方民族である匈奴（きょうど）の侵入を警戒し、それまで各地の国々が築いていた城壁をつなぎ合わせて大規模な万里の長城を修築しました。また、中央集権体制を強めるために、それまでバラバラだった文字、貨幣、度量衡（重さや長さの単位）を統一する政策を断行しました。
問2	<b>答え 1</b> エジプト文明 - ナイル川 - 象形文字（ヒエログリフ）	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれる通り、ナイル川の定期的な増水がもたらす肥沃な土壌によって発展し、パピルスなどに記される象形文字を使用しました。メソポタミア文明はチグリス・ユーフラテス川、インダス文明はインダス川、中国文明は黄河や長江の流域でそれぞれ成立しており、河川と文明の正しい対応を把握しておくことが重要です。
問3	<b>答え 1</b> インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。	インダス文明は、計画的に整備された都市遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパ、未解読のインダス文字が刻まれた印章などが特徴です。一方、中国文明（黄河文明など）では、漢字の原型となった甲骨文字や、高度な技術で作られた青銅器が特徴的です。
問4	<b>答え 1</b> 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。	岩宿遺跡の発見以前は、日本列島の歴史は縄文時代から始まると信じられていました。相沢忠洋が関東ローム層という更新世（氷河時代）に堆積した地層から打製石器を見つけたことで、土器出現前の古い時代に人類が活動していた証拠となりました。他の選択肢にある水田は弥生時代、金印や埴輪はそれ以降の時代の特徴です。
問5	<b>答え 1</b> 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。	紀元前16世紀頃に興った殷（商）では、占いの結果などを記録するために、亀の甲羅や牛の骨に文字を刻みました。これが漢字の原型とされる甲骨文字です。シルクロードの開通や仏教の伝来は漢の時代の出来事であり、度量衡の統一や万里の長城の整備は秦の時代の政策です。
問6	<b>答え 1</b> スペインがこの地域を植民地として支配し、自国の言語や宗教を広めたため	15世紀末から始まる大航海時代、スペインは金や銀などの資源や領土を求めてアメリカ大陸へ進出しました。特に南アメリカ大陸の太平洋側に位置する地域（現在のペルーやチリなど）を広範囲にわたって植民地として支配したため、支配国であるスペインの言語やキリスト教（カトリック）が定着し、現在まで続く文化的な基盤となりました。
問7	<b>答え 1</b> 北方の遊牧民族の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため	当時の中国にとって、北方から機動力を活かして攻め込んでくる遊牧民（匈奴）の存在は大きな脅威でした。始皇帝は中国全土を統一した後、国家の安全保障のために大規模な土木工事を行い、これら遊牧民の侵入を阻止するための防壁を築きました。これが万里の長城の起源であり、その後の王朝でも修復や改修が繰り返されました。
問8	<b>答え 1</b> 国家の規模が小さく、市民が特定の場所に集まって直接議論することが可能だった	古代ギリシャのポリス（都市国家）は、現代の国家に比べて人口や面積の規模が非常に小さかったため、市民が一堂に会して直接議論する「直接民主政」が可能でした。現代の国家では規模が大きすぎるため、代表者を選ぶ「間接民主政（議会制民主主義）」が一般的ですが、アテネでは市民が自ら国政に携わる形態がとられていました。

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 人類の出現と文明

名前

得点

/8

**問1** 世界史と日本史の年代を照らし合わせたとき、7世紀の出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用
- イエスによるキリスト教の成立と、日本での仏教の伝来
- シャカによる仏教の創始と、日本での稲作の普及
- 孔子による儒教の成立と、日本での古墳の築造

**問2** 古代中国の殷王朝において、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字（甲骨文字）が使用されていた目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 大阪公立入試 類似）

- 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。
- メソポタミア文明から伝わった文字を改良し、王の権力を周辺諸国に誇示するための行政文書として用いた。
- 秦の始皇帝が中国を統一した際、各地で異なっていた言語や度量衡を統一するための基準として作成した。
- 青銅器の表面に鑄造することで、王朝の歴史や先祖への感謝を後世に伝えるための記念碑として使用した。

**問3** 15世紀末のヨーロッパで作られた地球儀には描かれていなかった南アメリカ大陸で、独自の発展を遂げたインカ帝国の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

- アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。
- メキシコ高原を中心に、巨大なピラミッド型神殿を持つテノチティランを首都として栄えたが、スペイン人に滅ぼされた。
- ユカタン半島を中心に、高度な天文学や数学を発達させ、独自の象形文字や精密な暦を使用する都市国家を形成した。
- 大西洋と地中海を結ぶ交易の中継地として、鉄製の武器や馬車を用いることで広大な領土を支配する中央集権国家を築いた。

**問4** 奈良時代の日本に、西方のペルシアやインドなどの影響を受けた文化や工芸品がもたらされた背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄公立入試 類似）

- 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。
- 倭の五王が中国の南朝へ使いを送ったことで、東南アジアの島々を経由する「海の道」の貿易が発達になり、工芸品が伝わった。
- 勘合貿易の開始によって、明の文化が琉球王国を経由して平城京に運ばれ、正倉院のような建築物に収められるようになった。
- 朝鮮半島での白村江の戦いに勝利した際、大陸から多くの技術者や文化人が日本に渡来し、西方の高度な工芸技術を伝えた。

**問5** 古代中国の殷王朝において、甲骨文字が用いられていた背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 愛知公立入試 類似）

- 王が占いや祭祀によって神の意志を確認し、政治の重要な決定を下すために使用された。
- 広大な国土を治めるために、民衆に法律を周知させる目的で石碑に刻んで公開された。
- 周辺諸国との貿易において、商品の数量や金額を正確に記録するために作成された。
- 仏教を日本などの近隣諸国へ広める際、経典の内容を翻訳するために発明された。

**問6** 紀元前3000年ごろ、西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた文明は、肥沃な土地を利用して灌漑農業が行われ、粘土板に刻まれる楔形文字などの独自の文化を生み出しました。この文明の名称として正しいものを選択してください。（2018年 高知公立入試 類似）

- メソポタミア文明
- エジプト文明
- インダス文明
- 中国文明

**問7** 中国の古代文明において、現在の日本の日常生活でも使用されている文字のルーツが登場しました。この文字の成り立ちや当時の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

- 殷の時代に、亀の甲羅や動物の骨に占いの結果を刻んだことが始まりである。
- 秦の始皇帝が、エジプトの象形文字を参考にして独自に作り出したものである。
- 漢の時代に、シルクロードを通じて西方から伝わった文字が変化したものである。
- 周の時代に、青銅器の重さを記録するために数字として考案されたものである。

**問8** 紀元前2500年ごろ、インド亜大陸北西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

- 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された
- 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された
- ジググラトと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された
- 青銅器とともに甲骨文字が用いられ、大規模なかんがい農業が行われた

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用</b>	イスラム教は7世紀に成立し、同じ時期の日本では645年に大化の改新が始まり、日本初の元号である「大化」が制定されました。キリスト教の成立は1世紀（日本は弥生時代）、仏教の成立は紀元前（日本は縄文～弥生移行期）、儒教の成立も紀元前であり、いずれも7世紀の出来事ではありません。
問2	<b>答え 1</b> <b>農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。</b>	古代中国の殷王朝は、宗教的権威によって国を治める「祭政一致」の性格が強い国家でした。甲骨文字は、豊作の祈願、戦争の成否、天候の予測といった政治上の重大な決断を下すための「占い」の内容や結果を記録するために使われました。資料に見られる骨や甲羅の表面に刻まれた細い線のような跡は、神託を記録した当時の公文書としての役割を持っていました。
問3	<b>答え 1</b> <b>アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。</b>	インカ帝国は標高の高いアンデス山脈に位置していたため、限られた土地を有効に活用する段々畑の技術や、地震にも耐えるほど精巧な石造建築が特徴です。メキシコ高原で栄えたのはアステカ文明、ユカタン半島で栄えたのはマヤ文明であり、地理的条件や文明の特色によって明確に区別されます。
問4	<b>答え 1</b> <b>遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。</b>	奈良時代、日本は唐の進んだ律令制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐の都である長安は、シルクロードを通じて世界各地から人や物が集まる国際都市でした。そこで育まれた国際的な文化（唐文化）が、遣唐使によって日本に直接もたらされたため、正倉院に代表されるような西方の香り漂う工芸品が日本に残ることとなりました。他の選択肢にある「倭の五王」は古墳時代、「勘合貿易」は室町時代、「白村江の戦い」は日本が敗北した出来事であり、時代背景や事実関係が異なります。
問5	<b>答え 1</b> <b>王が占いや祭祀によって神の意志を確認し、政治の重要な決定を下すために使用された。</b>	殷の時代は、占いの結果に基づいて政治を行う「神権政治」が行われていました。甲骨文字は、亀の甲羅などを火であぶった際にできるひび割れの形から神の意志を読み取り、その問いかけや結果を記録するために使用されたため、当時の政治と密接に結びついています。
問6	<b>答え 1</b> <b>メソポタミア文明</b>	チグリス川とユーフラテス川の二つの河川の間位置する地域では、定期的な増水によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農業が発展しました。この地域では楔形文字のほかに、太陰暦や六十進法が考案され、その後の文明に大きな影響を与えました。
問7	<b>答え 1</b> <b>殷の時代に、亀の甲羅や動物の骨に占いの結果を刻んだことが始まりである。</b>	漢字の起源は、紀元前16世紀ごろの殷王朝で使用されていた甲骨文字にあります。当時の王は、祭祀や戦争、農作物の収穫などの成否を占うために、亀の甲羅や牛の骨に溝を彫って焼き、その割れ方で神の意志を判断しました。その結果を同じ骨などに刻み込んだことが、文字として記録を残す文化の始まりとなりました。
問8	<b>答え 1</b> <b>下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された</b>	インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパは、焼成レンガを用いた整然とした街並みが大きな特徴です。特に、網の目のように張り巡らされた排水用の下水道や、共同で利用されたと考えられる大規模な公衆浴場などは、当時の技術水準が極めて高く、都市が極めて計画的に設計されていたことを物語っています。